

5	下水道局	良好な水環境と環境負荷の少ない都市を実現する施策																												
事業概要	<p>隅田川の両国橋付近における水の約6割、多摩川の中流域における水の約5割が下水処理水であり、良好な水環境の実現に向けて下水道が果たす役割は大きくなっている。</p> <p>都民の皆さまが水と親しむことができる快適な水辺空間の創出を目指して、雨天時の放流水質改善のために合流式下水道を改善する取組や赤潮の発生要因の一つである下水処理水のちっ素やりんを削減する高度処理を推進していく。</p> <p>また、再生可能エネルギー活用の拡大や省エネルギーのさらなる推進、下水処理に伴い発生する温室効果ガスの削減について、新たな技術の開発・導入などにより積極的に取り組むとともに、水質改善と省エネルギーの両立を図り、環境負荷の少ない都市の実現に貢献していく。</p>																													
これまでの経過	<p><b>【合流式下水道の改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潮の干満の影響を受け水が滞留しやすい河川区間など14水域での対策を着実に推進するため、地元区や再開発事業者などとの連携を強化し、貯留施設などの整備を加速</li> <li>雨天時下水を効率的に処理するため、高速ろ過施設を水再生センターで整備</li> </ul> <p><b>【高度処理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早期導入が可能で、電力使用量を増やさず水質改善ができる準高度処理施設の整備を加速</li> <li>水質改善と省エネルギーの両立を図る「新たな高度処理」の導入開始</li> </ul> <p><b>【エネルギー対策・地球温暖化対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「スマートプラン2014」に基づき、再生可能エネルギーの活用の拡大や省エネルギーを推進し、総エネルギーに占める再生可能エネルギー等（再生可能エネルギー+省エネルギー）の割合を向上</li> <li>「アースプラン2017」に基づき、省エネルギー型の機器の導入などの取組を推進し、温室効果ガス排出量を削減</li> </ul>																													
現在の進行状況	<p><b>【合流式下水道の改善】</b></p> <table border="1" data-bbox="333 1122 1385 1240"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成30年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量</td> <td>万m<sup>3</sup></td> <td>170</td> <td>116.2</td> <td>119.9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の主な内容（見込） 森ヶ崎水再生センターの雨天時貯留池など</li> </ul> <p><b>【高度処理】</b></p> <table border="1" data-bbox="333 1317 1385 1435"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成30年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度処理施設又は準高度処理施設的能力</td> <td>万m<sup>3</sup>/日</td> <td>634</td> <td>253</td> <td>275</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の主な内容（見込） 森ヶ崎水再生センターの準高度処理施設など</li> </ul> <p><b>【エネルギー対策・地球温暖化対策】</b></p> <table border="1" data-bbox="333 1512 1385 1704"> <thead> <tr> <th>下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成25年度末（計画策定時）</th> <th>平成30年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギーと省エネルギーの割合</td> <td>平成36年度までに20%以上</td> <td>5%</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の主な内容（見込） 南部汚泥処理プラントにおける第二世代型焼却システムの導入など</li> </ul>		区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成29年度末	平成30年度末（見込）	降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量	万m <sup>3</sup>	170	116.2	119.9	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成29年度末	平成30年度末（見込）	高度処理施設又は準高度処理施設的能力	万m <sup>3</sup> /日	634	253	275	下水道事業の取組	目標数値	平成25年度末（計画策定時）	平成30年度末（見込）	総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギーと省エネルギーの割合	平成36年度までに20%以上	5%	12%
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成29年度末	平成30年度末（見込）																										
降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量	万m <sup>3</sup>	170	116.2	119.9																										
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成29年度末	平成30年度末（見込）																										
高度処理施設又は準高度処理施設的能力	万m <sup>3</sup> /日	634	253	275																										
下水道事業の取組	目標数値	平成25年度末（計画策定時）	平成30年度末（見込）																											
総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギーと省エネルギーの割合	平成36年度までに20%以上	5%	12%																											
見通しの	各施策の事業については、経営計画2016に基づき引き続き着実に推進していく。																													
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 事業調整課	電話 03-5320-6597																												